

## 集中講義報告書

実験題目 : プログラミング演習 1  
報告者 : 4 年 37 番 本間 三暉  
提出日 : 2023 年 1 月 31 日  
実験日 : 2022 年集中講義期間  
実験班 :  
共同実験者 :

### ※ 指導教員記入欄

評価項目	配点	一次チェック ・ ・	二次チェック ・ ・
記載量	20		
図・表・グラフ	20		
見出し, ページ番号, その他体裁	10		
その他の減点	—		
合計	50		

コメント:

## 課題 1

strtok2.c を strtok3.c に改良したことによって読み込める文字数が 10 文字から 81 文字に増えた。

## 課題 2

概ね課題の仕様書のとおりに作成できた。

## 課題 3

表 1 にメイクファイル中での各記号の意味を示す。

表 1: メイクファイル中での記号と意味

記号	意味
\$?	ターゲットより新しい全ての依存関係の名前。\$(?) と書いても同じ意味を持つ
\$%	ターゲットがアーカイブメンバだったときのターゲットメンバ名
\$@	ルールのターゲットの名前。\$(@) と書いても同じ意味を持つ
\$*	ターゲットのパターンマッチに一致した部分。関連するファイルを作成するときなどに役立つ
\$+	ターゲットの全ての依存関係の名前 (重複があっても省略しない)。一般的には \$^の方が使われる
\$<	依存関係の一番最初の名前。\$(<) と書いても同じ意味を持つ
\$^	ターゲットの依存関係の名前。\$(^) と書いても同じ意味を持つ

## 課題 4

概ね課題の仕様書の通りに作成できた。

## リバーシプログラム

概ねテキストの仕様書の通り作成した。ただし、入力する人を信用しているため PvP の場合は間違った手を打つとパスされる。

## その他

端末室の環境だとコマンドプロンプトの形で開くので等幅フォントだが、Window11 では初期状態でターミナルがコマンドプロンプトや PowerShell を開くためプロポーションアルフォントになる。そのため、背景変換の座標が微妙に変わってしまい自宅作業のときに支障が生まれる可能性があるため一言あるといいかもしれない。

## 参考文献

1. 2022 年度 Ec4 プログラミング演習テキスト
2. <http://www.jsk.t.u-tokyo.ac.jp/~k-okada/makefile/>
3. <https://tex2e.github.io/blog/makefile/automatic-variables>